

生徒が在校時に地震発生した場合の対応について

出雲農林高等学校

2018.4.12

- 1) 地震発生
- 2) 身の安全の確保（第一次避難）

かばんや机下で頭部を保護し、揺れがおさまるのを待つ。

- 3) 避難経路により校庭【野球場】へ避難（第二次避難）

放送により指示または、授業担当者の指示による。

*別紙 避難経路図

- 4) 校庭にてクラス毎に点呼確認する。
- 5) 職員は情報を収集し、以後の授業続行又は中止を判断する。
- 6) 中止した場合、生徒に状況を伝えるとともに、安全な帰宅方法を促す。

確保できない場合は、校内に待機場所を準備する。

- 7) 帰宅方法が確保できた生徒から順次下校する。

在校時の生徒の避難方法

在校時、事故が発生した場合に最も配慮すべき事項は生命の安全、人身危害の防止である。従って退避が常に優先し、物品の搬出はこれにつぐという考えにもとづいて行動し、訓練を実施する。

	避難出口	学年別避難順序	集合場所
A	本館2棟1階 西端出口	動物科学科3年→ 動物科学科1年	野球場
B	本館2棟1階西北出口	食品科学科3年→ 食品科学科1年	同上
C	本館2棟2階西渡り廊下より 3棟1階の西北出口	食品科学科2年・ 動物科学科2年	同上
D	本館2棟2階東渡り廊下より 3棟1階の東北出口	植物科学科2年・ 環境科学科2年	同上
E	本館2棟1階東端出口	植物科学科3年→ 植物科学科1年	同上
F	本館2棟1階東北出口	環境科学科3年→ 環境科学科1年	同上
備考1. 実験実習、体育実技、芸術、家庭科その他の選択教科の時は担当教職員の指示により避難する。 2. 災害発生の場所により指示に従って集合場所を選択避難する			

夜間の災害については、寄宿舍生および職員が搬出並びに消火にあたる。

別紙 避難経路図

